

令和4年度Youth委員会 提案内容とそれに対する市の回答

※課名は令和6年度現在

テーマ1：あすなろ学級について

具体的な提案	提案に対する回答（学校保健安全課）
あすなろ学級（現：あすなろ）を紹介するInstagramの開設	<p>Instagramは基本的に「写真や動画を投稿する」「他人の写真や動画を見る」ことをメインとするSNSです。</p> <p>「あすなろ」を居場所としている児童生徒は繊細な子が多く写真や動画を不特定多数の人に見られることや個人情報の流失等により不安になることが懸念されます。</p> <p>また、写真や動画を撮影するために支援員が児童生徒と落ち着いて向き合うことができないことを考慮すると開設は困難です。</p>

テーマ2：子ども食堂等のボランティア情報について

具体的な提案	提案に対する回答（子供家庭支援課）
提案1：ボランティア活動の情報発信の拡大	<p>市では今後、様々な部署で発信しているボランティア活動等に関する情報を集約し、利用者目線で整理した上で発信したいと考えております。その中で若い方々に向けた情報があれば、分かりやすく紹介もしたいとも考えております。</p>
提案2：情報サイトのアプリケーション化	<p>アプリケーションの開発には少なからず経費が必要である事から、中高生を対象とした継続的な情報量がどれだけ確保できるのかや、アプリケーションによる情報取得ニーズがどれだけあるかなども含め慎重に検討したいと思っております。</p>

テーマ3：環境意識向上のためのペットボトルアートの作成

具体的な提案	提案に対する回答（美化企画課）
ペットボトルキャップ回収ボックスの設置	<p>現在、本市では小中学生を対象とした環境ポスター展を実施しており、優秀な作品は市民ギャラリーでの展示に留まらず、公用車へ掲出するマグネットシートや、各種イベント際に無料配布するポケットティッシュとして活用しています。</p> <p>しかしながら、高校生以上を対象としたコンテスト等は実施しておりませんので、高校生以上を対象としたペットボトルキャップアートコンテストやワークショップ等を開催できれば、環境問題への意識高揚に繋がるのではと考えています。</p> <p>一方で、ペットボトルのキャップについては、その他プラの対象品目として一定の費用を投じて収集し、再資源化を実施していますので、作品を製作するために使用するキャップを回収することのみを目的とした回収ボックスを設置することは困難です。</p>

令和4年度Youth委員会 提案内容とそれに対する市の回答

テーマ4：市民祭り

具体的な提案	提案に対する回答（地域コミュニティ推進課）
<p>提案1：中高生が楽しめる体験型や飲食系の屋台の数を増やす</p>	<p>にしのみや市民祭りは、様々な世代・多様な市民が参加・参画する市民の手作りによるお祭りを目指しています。</p> <p>Youth委員会「市民祭りグループ」の皆さんが実際に市民祭りの会場に足を運んで見聞きし感じられた様に、親子連れや高齢者の来場が多数ある一方、中高生の姿は少ないのが現状です。</p> <p>このことは、ご指摘いただいたとおり、全体として親子連れをターゲットとした催しが多く、中高生が楽しめる催しが少ないといったことが要因のひとつと考えています。さらに、例年親子連れの来場者が多いことから、結果として親子連れをターゲットとした催しが多くなる傾向にあるとも考えられます。</p> <p>市民祭りの実行委員会のメンバーの方々とも議論した結果、この課題を解決していくためには、「中高生の皆さんが楽しめる催しを中高生の皆さんに企画・実施していただく」ことが効果的な手法ではないかと考えています。</p> <p>なお、令和4年度の飲食物の販売については、新型コロナウイルス感染症の感染対策の観点から持ち帰り可能な食品の販売に限定しましたが、令和5年度の市民祭りでは多くの飲食ブースが戻って来る予定です。</p> <p>また、今年度は市民祭りでは初の試みとして、キッチンカーの出店を検討しており、中高生の皆さんも重視されている「飲食ブース」の充実を図っていきたいと考えています。</p>
<p>提案2：広報活動を通して、より多くの人に知ってもらう</p>	<p>平成30年度に実施した来場者アンケートにおいて、「市民祭りの開催を何で知りましたか（複数回答可）」という質問に対して、回答が多かった順に、「市政ニュース39.9%」「家族・友人・知人20.7%」「ホームページ14.2%」「地域情報誌『宮っ子』12.8%」「チラシ12.4%」「ポスター9%」「ケーブルテレビ2.8%」…「Instagram等SNS2.1%」となっています。</p> <p>このことから市内全戸に配布される「市政ニュース」「チラシ」「ポスター」「ホームページ」等による従来からの広報は、市民祭りを市民に広く周知する方法として有効であると考えています。</p> <p>一方で、中高生の情報入手の主流がSNSであるところのご指摘をいただいたことについて、中高生に情報を届ける手段としては、SNSによる情報発信も重要であると考えています。そのため、近年ではSNS（Instagram、Twitter、Facebook、YouTube）での情報発信も行っており、令和4年度には市民祭りの会場でSNSをフォローしてくれた来場者にくじ引きで景品をプレゼントする特別企画を実施しSNSでの情報発信の効果を高める取り組みも行いました。</p> <p>今後は、中高生にも興味を持ってもらえるような情報発信のあり方（中高生に人気のTikTokの活用、発信の頻度や内容等）についても、中高生の皆さんのご意見をお伺いしながら前向きに検討していきたいと考えています。</p>

令和4年度Youth委員会 提案内容とそれに対する市の回答

テーマ4：市民祭り

具体的な提案	提案に対する回答（地域コミュニティ推進課）
提案3：中高生も参加しやすい時間にも開催する	<p>市民祭りはかつて夏に開催されていましたが、熱中症等のリスクから来場者の健康面に配慮し、平成24年度より秋開催となりました。</p> <p>例年、日没後は会場が暗く、肌寒くなること、また現状は親子連れの来場者が多いこともあり、日中と比べて夕方は会場内の人が減少すること等から例年18時30分に終了しています。</p> <p>現在の開催時間（終了時間）では、部活動などで参加しにくい中高生も多くいらっしゃるご指摘について、開催時間の延長は、費用面や運営面におけるいくつかの課題があることから、中高生の参加を促すための他の取り組みによる効果も踏まえて検討したいと思っております。</p>
提案4：チラシの端に特典をつける	<p>中高生の参加促進という目的に限れば、日頃よりSNSで情報を入手することが多い中高生への広報手段として紙媒体のチラシを使った取り組みが効果的かどうかについて慎重に検討する必要があると考えています。</p> <p>中高生にも情報を届けるための取り組みとしては、令和5年度にSNSの「ハッシュタグキャンペーン」の実施を検討しており、参加者には抽選で中高生にも魅力的な景品をプレゼントしたいと考えています。</p> <p>なお、ご提案いただきました「チラシに特典を付ける」手法については、令和元年度に市内北部地域からの来場を促すことを目的に、市内北部地域（塩瀬、山口）の小学生を対象に、会場内の物販コーナーで利用できる「100円割引券」付きのチラシを配布しましたが、割引券の利用は少なかったという状況があります。</p> <p>※専用チラシを北部地域の小学生（約2,500名）に事前配布しました。</p>
提案5：映えスポットの作成	<p>いわゆる「映えスポット」を会場内に設けてはどうかのご提案は、中高生のみならず多くの来場者が楽しめるものであるため、前向きに検討していきたいと思っております。こちらも、中高生の皆さんの発想を活かしたものとすることが効果的と考えます。</p>
提案6：大人向けの屋台を増やす	<p>市民祭りでは「観光コーナー」を設けて、西宮の名物である「日本酒」「和菓子」「洋菓子」、また友好都市の名産品も数多く取り扱っており、大人の方にも楽しんでもらっているのではないかと考えています。ご提案いただいたように、西宮にゆかりのある限定グッズなどの販売があれば、より多くの来場者が楽しめるのではないかと考えています。</p> <p>ブース・バザールの出店内容については、基本的には参加団体の皆さんが自ら決めています、「あったらいいもの」を中高生の視点で取りまとめ参加団体の皆さんに対して情報提供をすることで出店内容が変わってくることもあるかと思っております。</p> <p>また、実行委員会企画として、魅力的な限定グッズの販売を行うこともできますが、売れ残りによる在庫リスクについても慎重に検討する必要があると考えています。</p>